

第37回

定時株主総会

Jトラスト株式会社

2013年6月27日

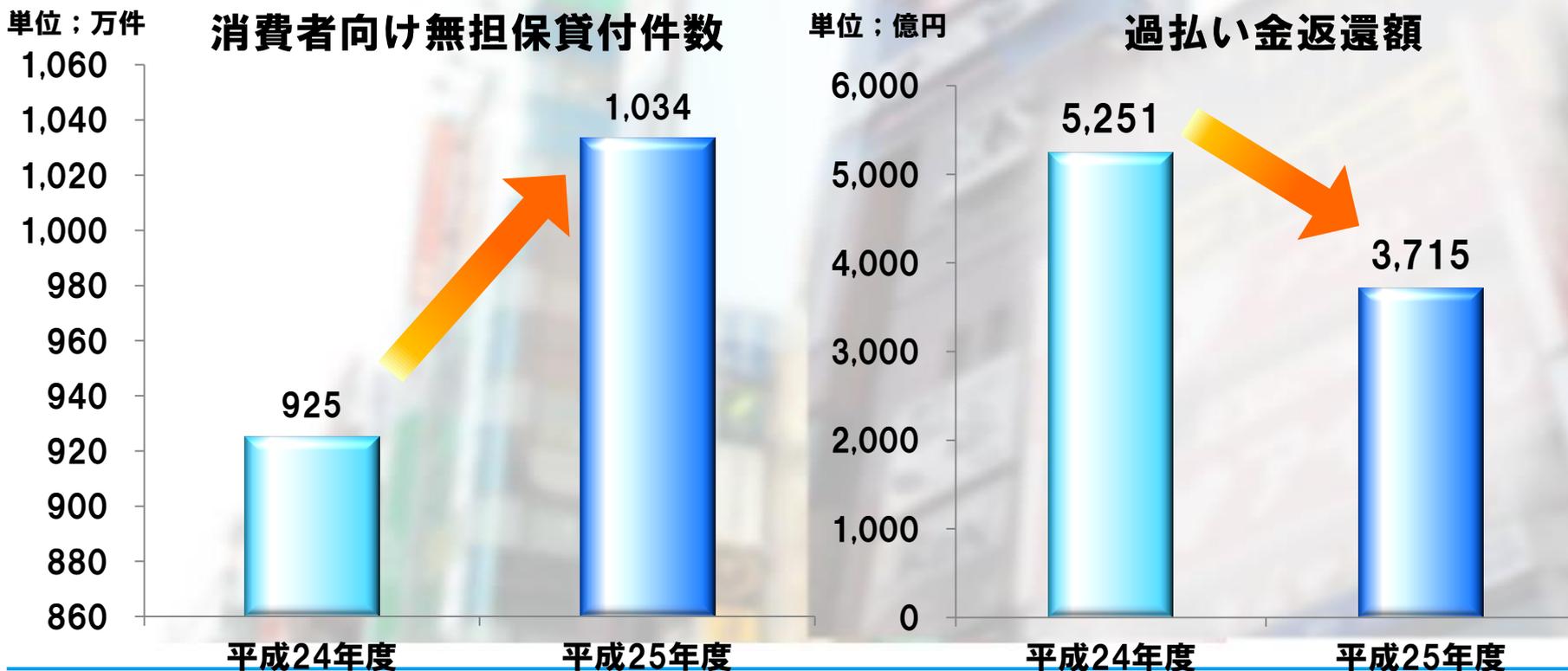
報告事項

第37期

平成24年4月1日～平成25年3月31日まで

消費者向け無担保貸付件数及び過払い返還金額の推移

- 無担保貸付における新規契約件数が前年対比増加
- 過払い金返還額や利息返還請求件数が前年対比減少



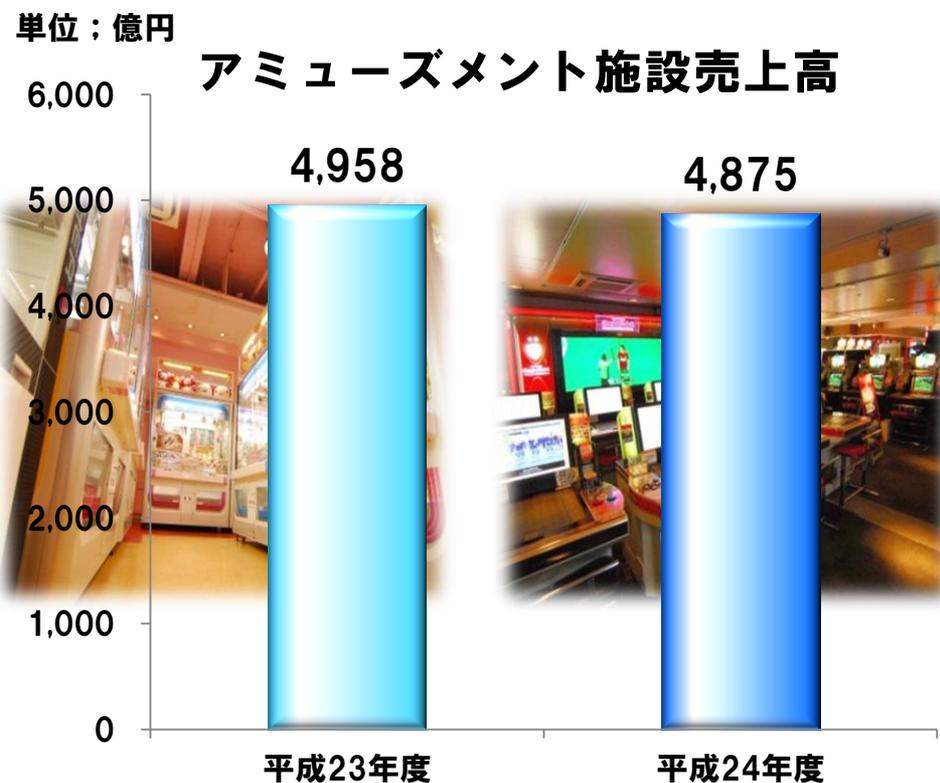
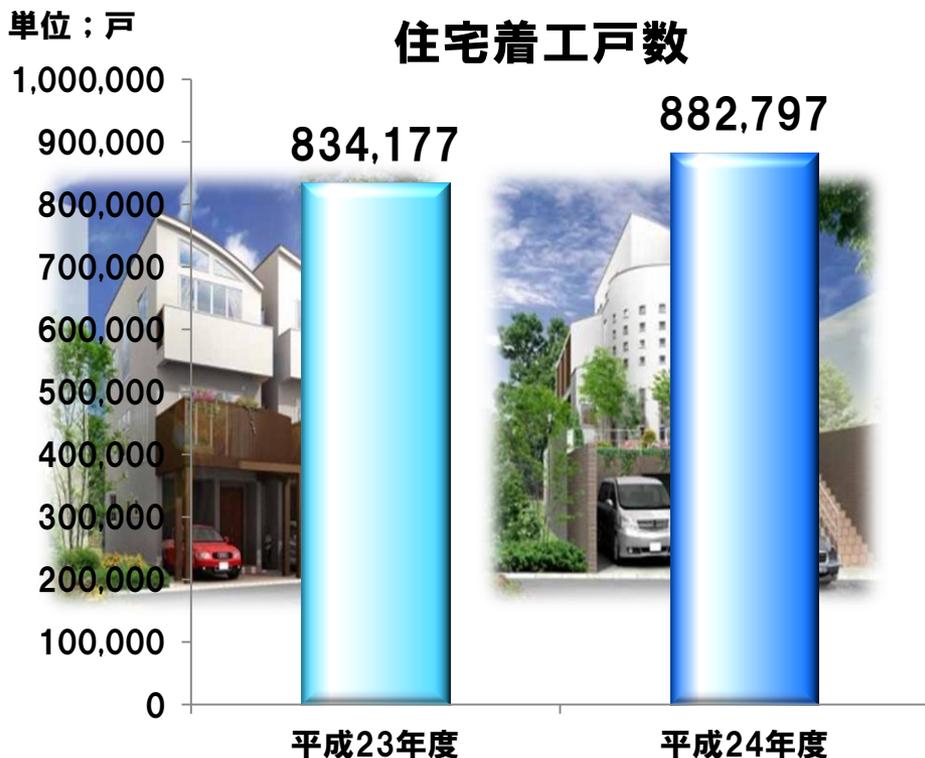
クレジットカード信用供与残高の推移

- カードキャッシングは融資残高、取扱高ともに減少
- カードショッピングは利便性の向上を背景に拡大基調



不動産およびアミューズメント市場の推移

- 新設住宅着工戸数は低水準ながら増加傾向
- アミューズメント業界全体は軟調傾向で推移



事業の経過及び成果について

 **KC Card****アドアーズ株式会社** **日本保証** Break co., Ltd. 西京銀行グループ
SAIKYOCARD**PARTIR****クレディア****NEOLINE CREDIT** **株式会社 エーエーディ****KEYNOTE** **親愛貯蓄銀行** **J TRUST SYSTEM**

事業の経過及び成果について



格安ECサイト 「イーモモットドットコム」

The screenshot shows the eMoMoT.com website interface. At the top, there's a search bar and navigation tabs for categories like Fashion, Food, Beauty, Sports, Kitchen, and Social Contribution. A large banner promotes the Ponta membership program, highlighting that users can earn Ponta points and use them for purchases. Below this, there are several product listings with '完売御礼' (Sold Out) tags and significant discounts: febreze (67% OFF), Downy (60% OFF), and Yamada Onsen (62% OFF). A sidebar on the right contains a login section and a 'GIRLS TV' advertisement.

新たなB to Cビジネスの拡充



会員数や決済金額を増加させ
クレジットカード事業の強化を図る

事業の経過及び成果について



金融ビジネスノウハウと提携先金融機関の
ブランド力を融合し、信用保証業務の拡充を図る

事業別セグメント業績



不動産
事業

アミューズ
メント事業

海外事業

金融事業

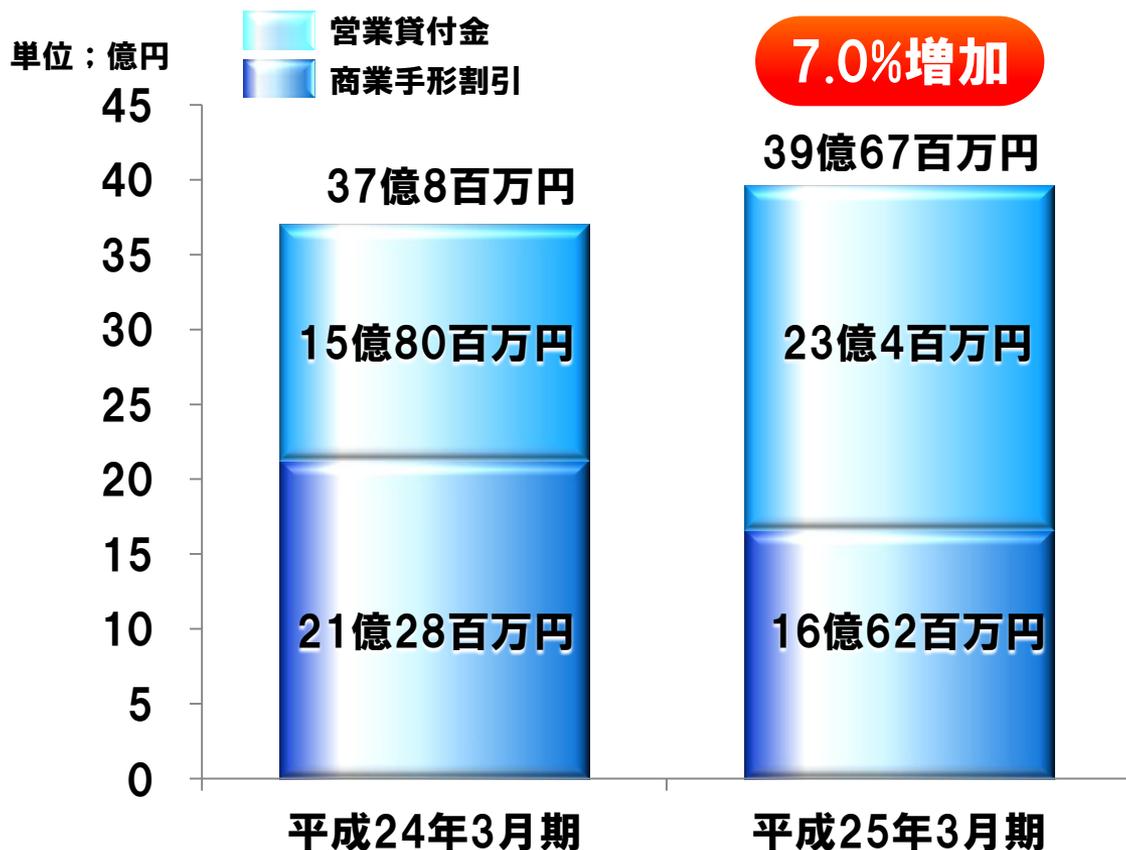


その他の
事業

金融事業

事業者向け 貸付業務

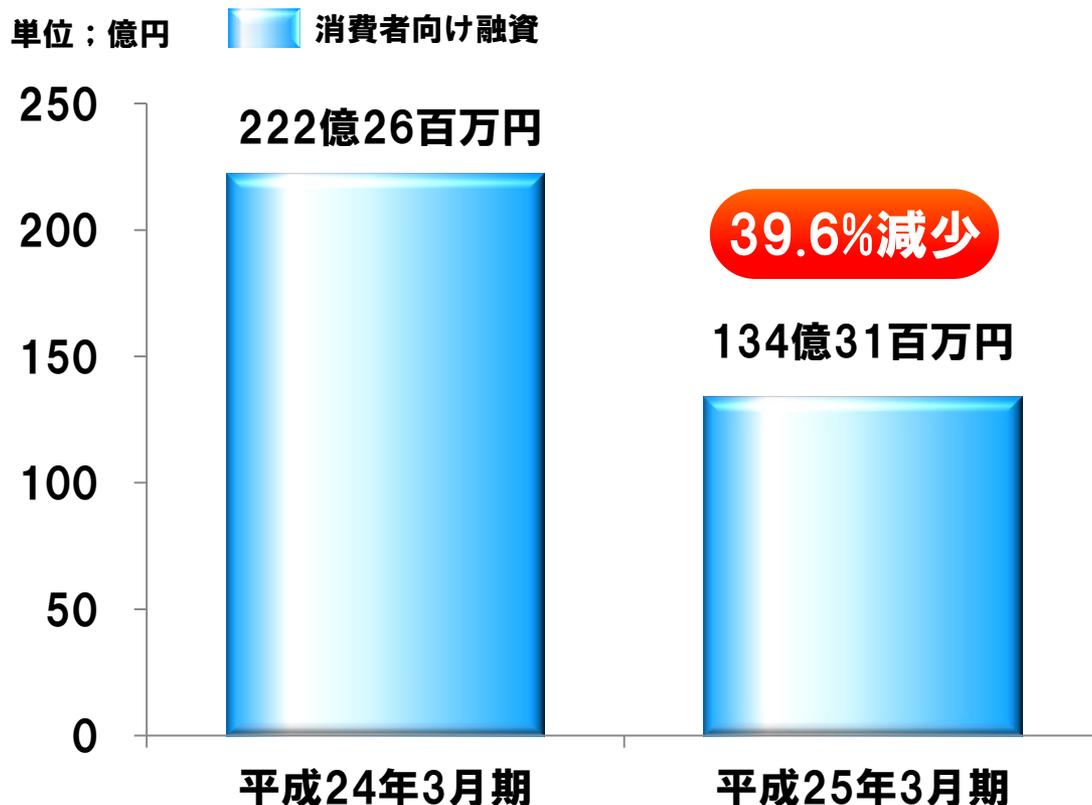
不動産担保融資を中心に 営業貸付金が増加



金融事業

消費者向け 貸付業務

武富士の消費者金融事業
からの回収が順調に推移し
融資残高が減少



日本保証



クレディア



西京銀行グループ
SAIKYOCARD

金融事業

クレジット・ 信販業務

会員数や顧客単価の増加によるショッピング手数料の増加を推進



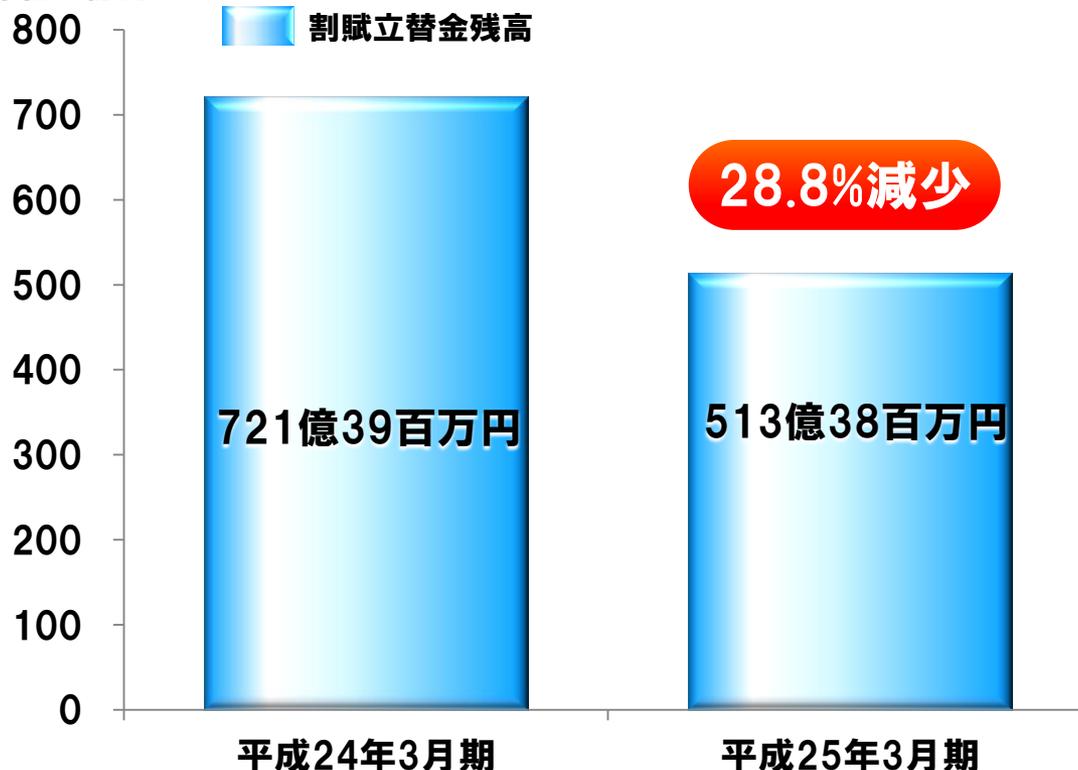
金融事業

クレジット・ 信販業務

カードキャッシングに おける回収が進んだこと により融資残高が減少



単位：億円



金融事業

信用保証
業務

新たな提携先金融機関の
拡大と既存顧客基盤の
有効活用により残高を増加



金融事業

信用保証
業務

新たな提携先金融機関の
拡大と既存顧客基盤の
有効活用により残高を増加

単位：億円

債務保証 無担保
債務保証 有担保

50.4%増加

331億94百万円

71.2%増加

164億58百万円

34.3%増加

167億35百万円

220億72百万円

96億14百万円

124億57百万円

平成24年3月期

平成25年3月期



金融事業

債権買取
業務

積極的に債権買取を実施
買取債権残高を積上げ

単位：億円

■ 買取債権残高

9.5%増加



日本保証

PARTIR

金融事業

KC Card

日本保証

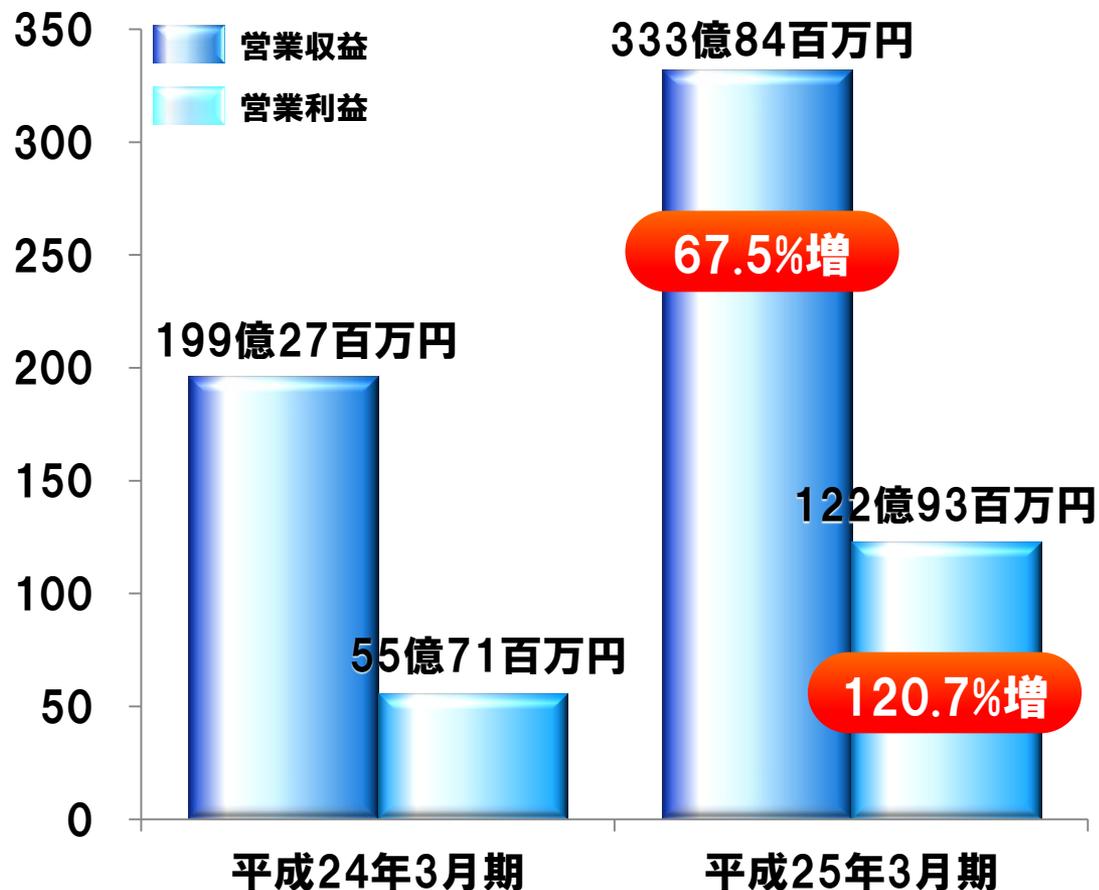
クレディア

西京銀行グループ
 SAIKYOCARD

PARTIR

営業収益・営業利益 ともに前期比増

単位：億円



不動産
事業

金融事業とのシナジーを
活かし住宅関連ビジネス
により収益化を図る

建売住宅の販売・仲介



注文住宅建設事業



中古住宅の
リノベーション



KEYNOTE

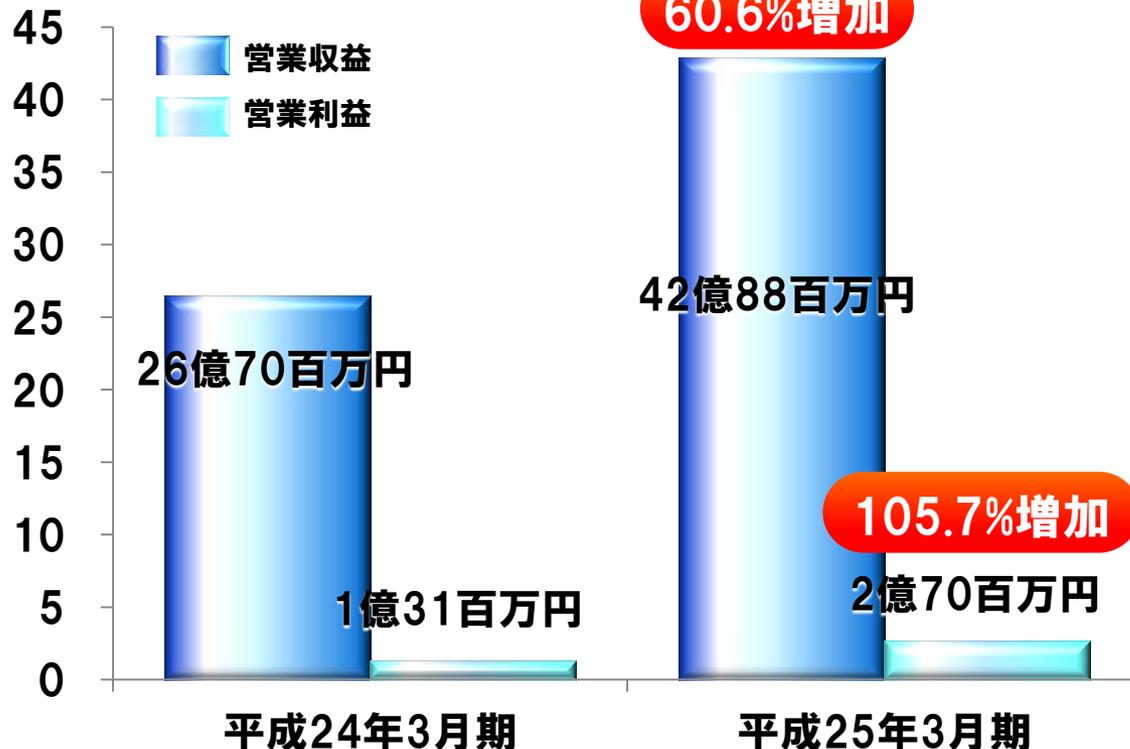
不動産 事業

KEYNOTE

アドアーズ株式会社

アドアーズの不動産賃貸業も加わり、営業収益・営業利益ともに前期比増

単位：億円



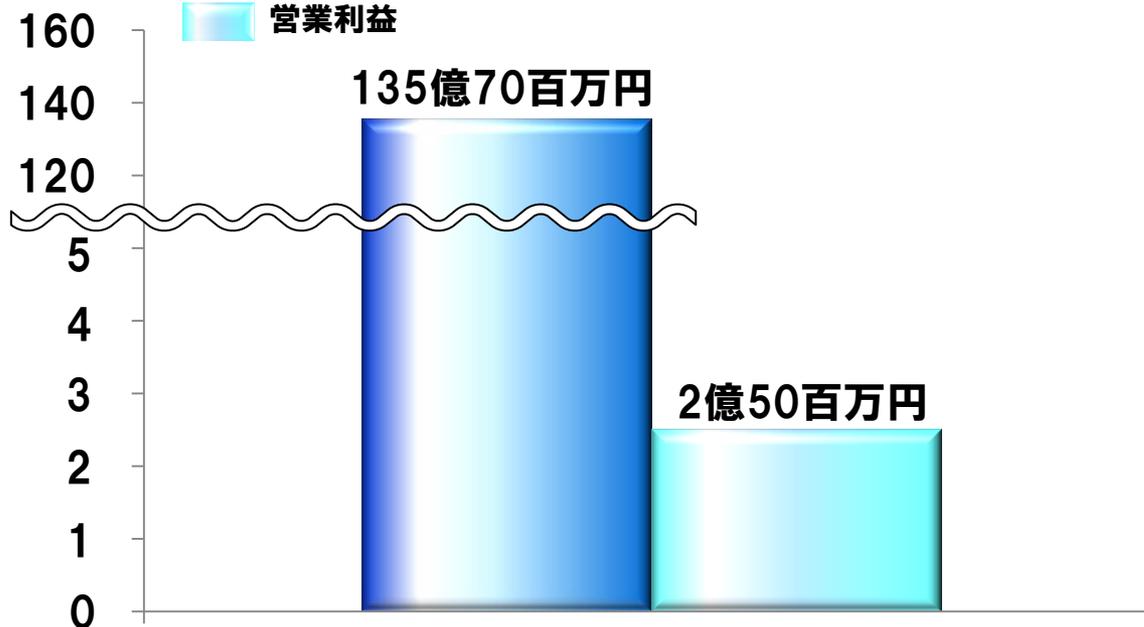
アミューズメント事業



アミューズメント
機器用景品の販売
アミューズメント
施設の運営等

単位：億円

■ 営業収益
■ 営業利益



平成25年3月期

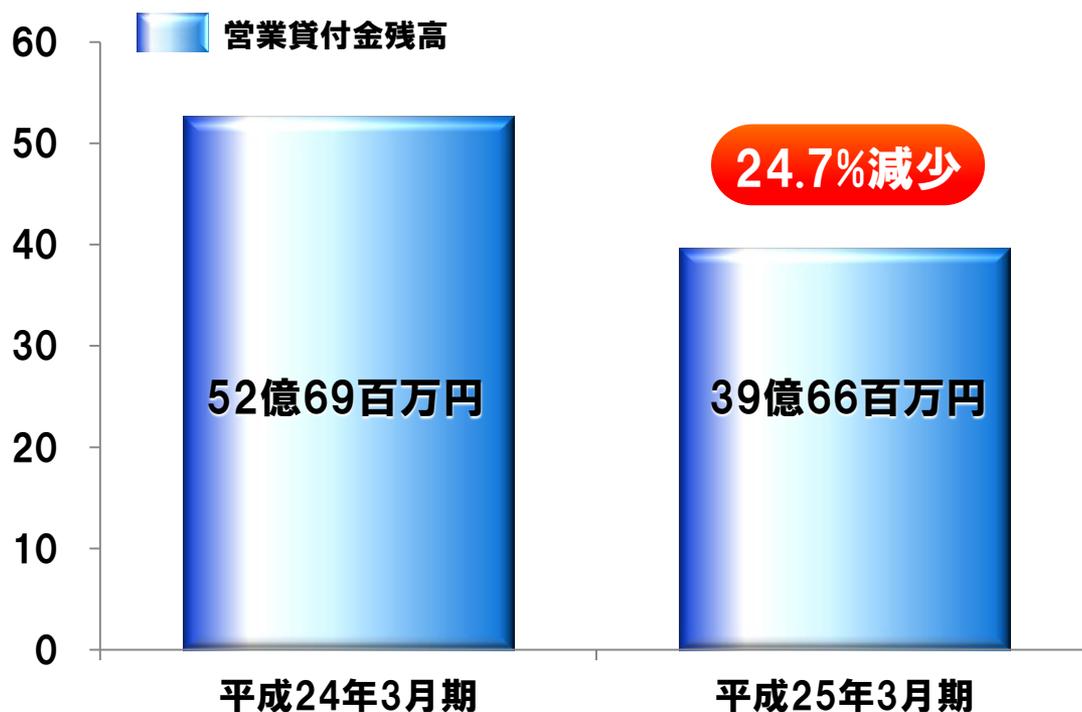


海外事業

NEOLINE CREDIT

営業貸付金は回収が 順調に進んだこと により減少

単位：億円



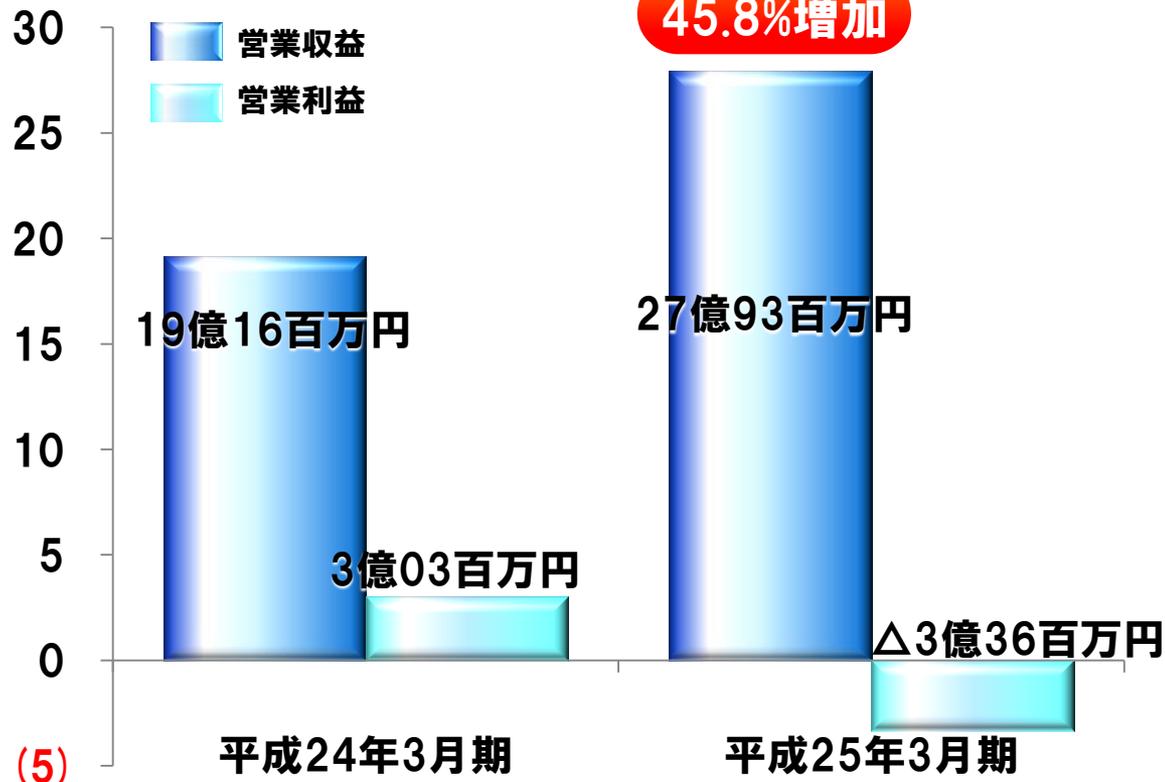
海外事業

NEOLINE CREDIT

親愛貯蓄銀行

親愛貯蓄銀行が営業を開始 ソロモン貯蓄銀行より 営業債権の買取りを実施

単位：億円



その他の 事業

 J TRUST SYSTEM

アドアーズ 株式会社

 株式会社 エーエーディ

NLバリュウキャピタル

➤ Jトラストシステム

- ・システム開発
- ・コンピューターの運用及び管理

➤ アドアーズ

- ・設計、施工事業等

➤ エーエーディ

- ・印刷事業

➤ NLバリュウキャピタル

- ・投資事業

投資事業、グループ経営管理等

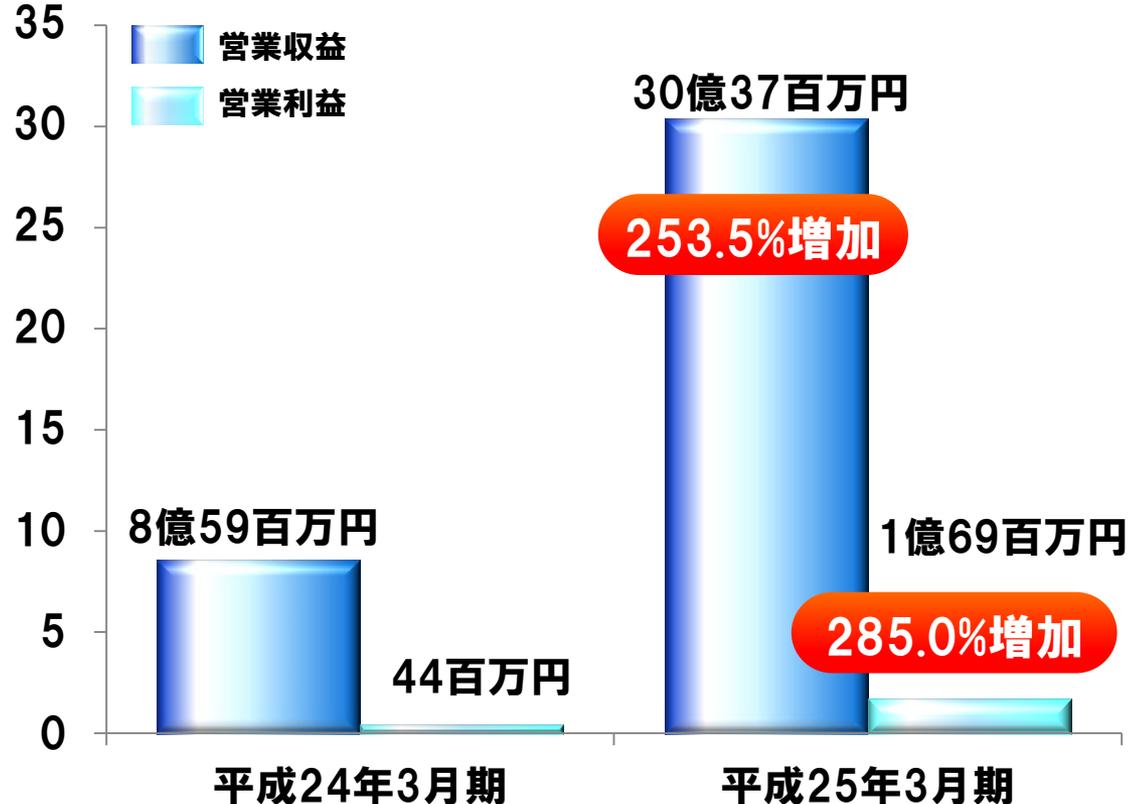
JTインベストメント

平成24年11月解散 清算手続中

その他の 事業

- ・ アドアーズ
 - ・ エーエーディ
 - ・ NLバリュースキャピタル
- 前期実績には不算入

単位：億円



J TRUST SYSTEM

アドアーズ株式会社

株式会社 エーエーディ

NLバリュースキャピタル

対処すべき課題

厳しい経営環境の変化に柔軟に対応

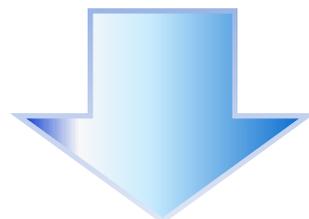
- 事業者向け貸付業務
- 消費者向け貸付業務
- 信用保証業務
- クレジットカード業務
- 債権買取業務
- 不動産事業
- アミューズメント事業
- システム関連事業
- 印刷事業
- 海外金融事業

市場環境変化に対応したマーケティング戦略を展開

- 時代の変化を捉え
- 相乗効果が見込まれる事業への積極的な業容拡大
- 時代に即応したビジネスモデルの構築
- 新たな収益源の確保を模索し続けることが課題

海外含め20社、グループ従業員は2,105名に

- 内部統制システム構築の基本方針に基づいた体制整備
- 内部監査体制の一層の充実強化
- リスクマネジメントやコンプライアンス体制の充実
- 所在国における各種法令、社会規範等の遵守



内部統制を一層強化

訴訟について

➤ 平成23年12月 武富士とスポンサー契約を締結

スポンサー選定プロセスにおいて共同不法行為により損害を被ったとして、平成24年6月19日付東京地方裁判所に提訴されている

■前スポンサーであった原告が武富士との合意に基づく分割対価の払込みをしなかったことによりスポンサー契約を解除されたもの

■原告の訴えは根拠無く、当社の正当性を主張

その他株式に関する重要な事項

- **ネクストジャパンホールディングスとの株式交換により発行済株式総数が907,916株増加**
(効力発生日：平成24年4月30日)
- **株式分割により発行済株式総数が31,145,696株増加**
(効力発生日：平成24年6月1日)
- **発行可能株式総数を7,000万株から2億4,000万株へ変更**
(平成24年6月27日)
- **新株予約権の行使により発行済株式総数が882,900株増加**

その他株式に関する重要な事項

- 当社以外の全株主の皆様を対象とした
ライツ・オファリングによる資金調達を決議
(ノンコミットメント型/上場型新株予約権の無償割当)

剰余金の配当等の決定に関する方針

適正な利益還元を経営の最重要課題

1株につき、
期末配当 4円
中間配当 3円
年間配当 7円

株式分割前の基準で換算した年間配当
前期比 2円増配の14円

連結貸借対照表

平成25年3月31日現在

総資産

- 親愛貯蓄銀行の営業貸付金等の資産が増加
- ネクストジャパンホールディングス、アドアーズ、JTインベストメントの連結子会社化により現預金等が増加

2,187億6百万円

前期比 1,011億59百万円増加

負債

- 親愛貯蓄銀行が未来貯蓄銀行の一部負債を引き継ぎ、銀行業における預金が増加

1,478億10百万円

前期比 797億35百万円増加

純資産

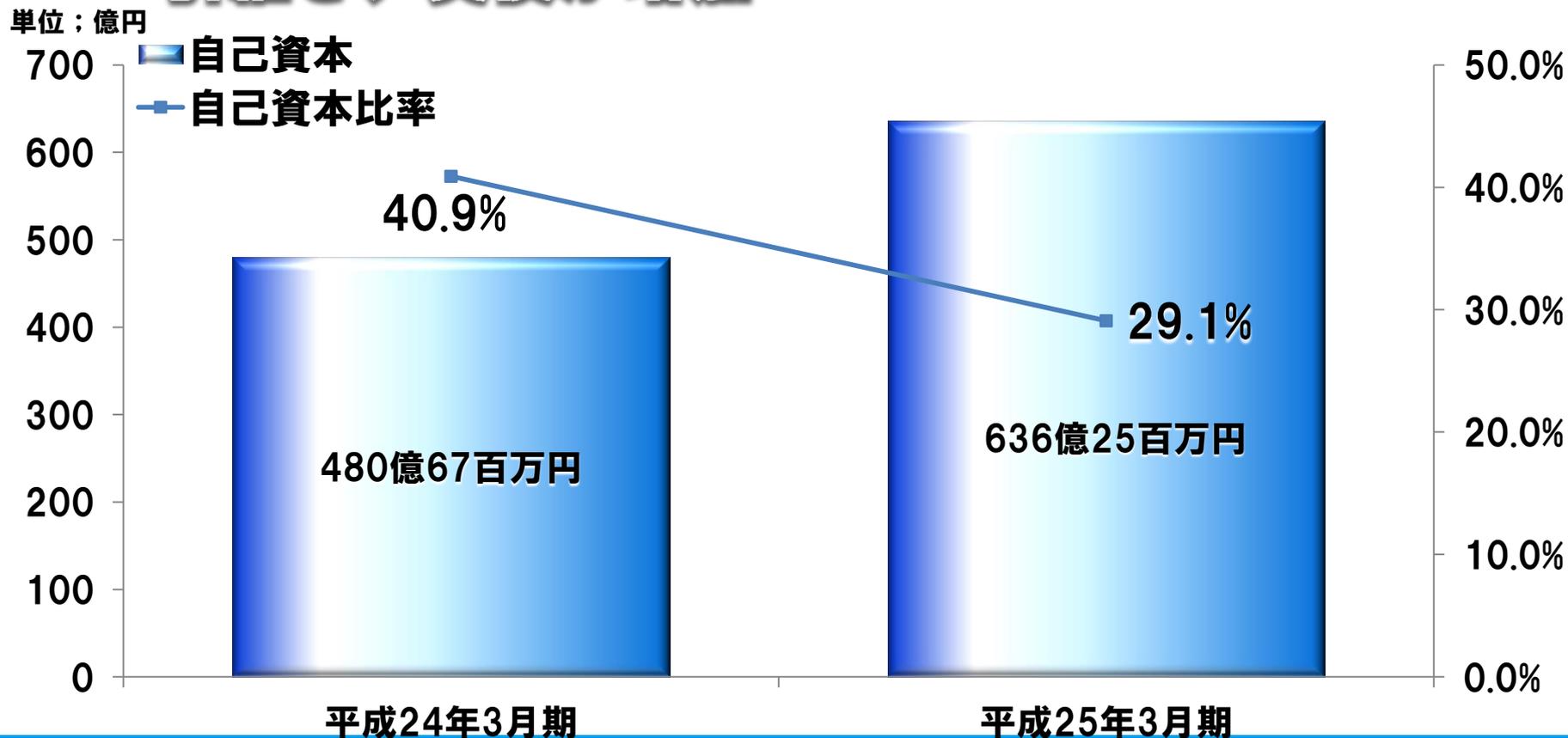
- 連結業績が大幅増益
- 利益剰余金が543億20百万円
- 少数株主持分が増加

708億95百万円

前期比 214億24百万円増加

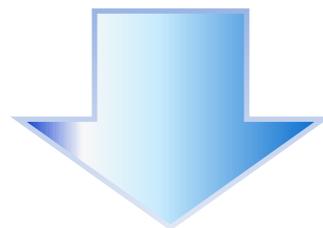
自己資本比率

➤ 親愛貯蓄銀行が未来貯蓄銀行の一部負債を引継ぎ、負債が増加



一株当たり純資産額

➤ 前連結会計年度末より215円72銭増加



1,013円89銭

連結損益計算書

平成24年4月1日～平成25年3月31日まで

営業収益

- クレジットカード事業収益の増加
- 武富士から承継した消費者金融事業収益の増加
- 不動産事業収益の増加
- アミューズメント事業、親愛貯蓄銀行収益の加算

556億83百万円

前期比 311億74百万円増加

営業収益

単位：億円



営業利益

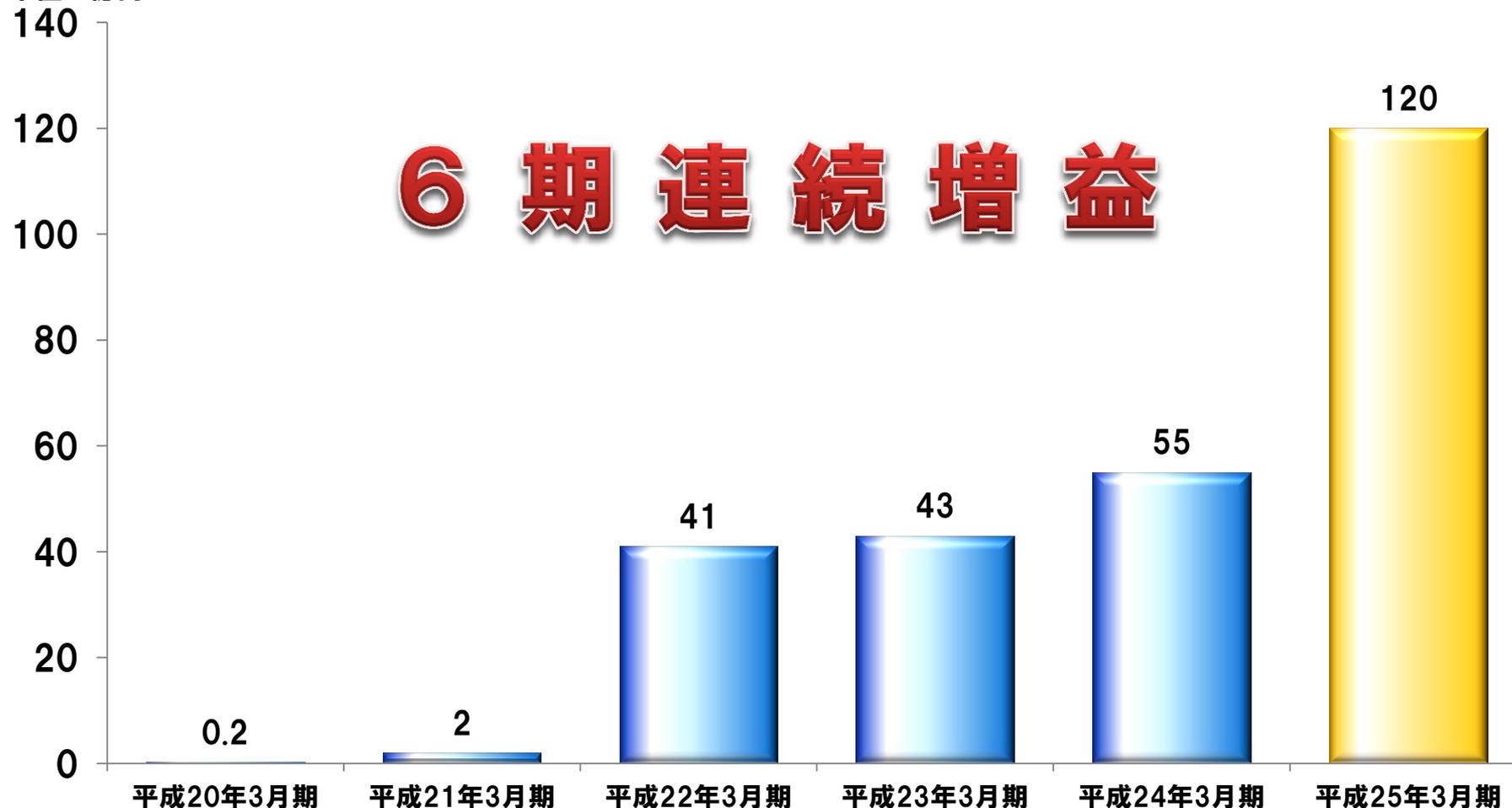
- アミューズメント、不動産の売上原価等、営業費用が162億46百万円増加
- 人件費、その他経費含む販管費が84億62百万円増加
- 営業収益が311億74百万円増加

120億5百万円

前期比 64億65百万円増加

営業利益

単位：億円



経常利益

- 営業利益が64億65百万円増加
- 受取配当金が増加
- 韓国投資に伴う為替差損益純額で差益に

137億4百万円

前期比 82億18百万円増加

当期純利益

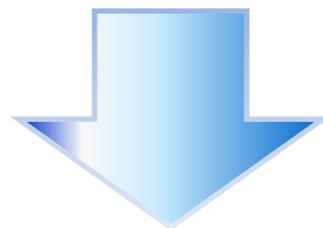
- 前期はKCカードの株式取得に係る負ののれん発生益294億44百万円を計上

133億9百万円

前期比 211億91百万円減少

一株当たり当期純利益金額

➤ 前連結会計年度末より361円52銭減少



214円44銭

